

ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために

安全上 の ご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性・または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。


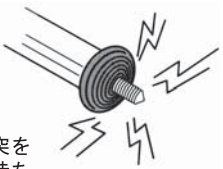









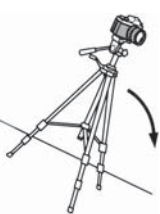






■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

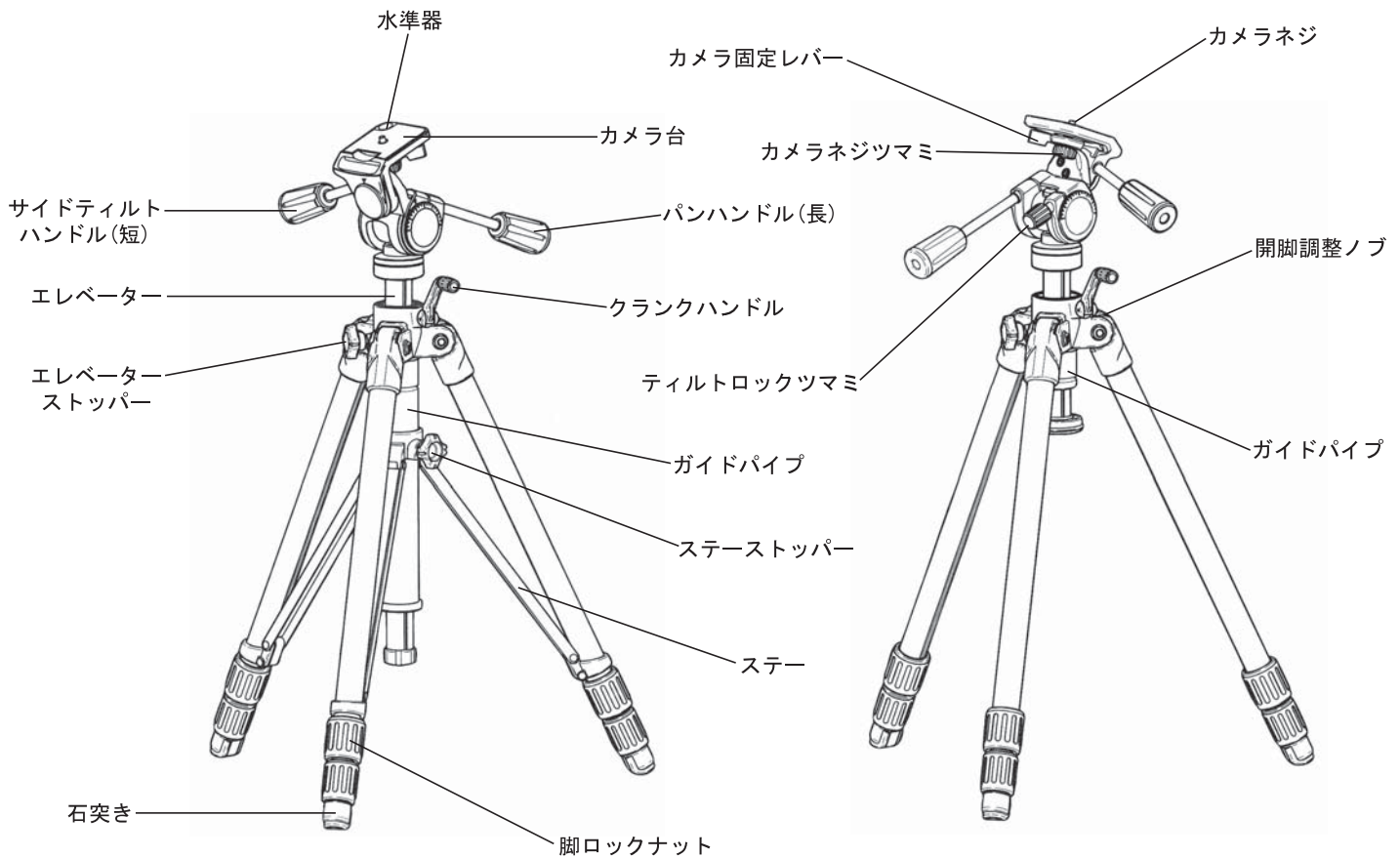


このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告		注意	
  <p>スパイク付石突を備えた三脚を持ち運ぶときは、安全のためスパイクを出さないでください。死亡や大ケガの原因となります。</p>	  <p>脚を開閉するときは、十分に注意してください。あやまって指をはさむとケガにつながります。慌てずによく確かめて操作してください。</p>	  <p>三脚にカメラを装着したままでの移動は、お避けください。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。</p>	  <p>三脚の自重の2倍を超えるカメラの使用は、安定性を損ないますのでお避けください。カメラブレの原因となったり、三脚が転倒する恐れがあります。</p>
  <p>カメラを載せたまま脚の伸縮調整や雲台の操作をするときは、カメラ本体を必ず手で支えながら行ってください。三脚やカメラが不意に動き、カメラを破損したり手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。</p>	  <p>ぐらついた台の上や傾斜面など、不安定な場所で使用する場合は十分に注意してください。特に高位置での使用の場合、頭や足の上などに落下すると、死亡や大ケガにつながる恐れがあります。</p>	  <p>各々のネジや固定レバーは、必要なとき以外は確実に固定してご使用ください。ネジや固定レバーがゆるんでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。</p>	  <p>三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないでください。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ●三脚はアルミ合金部品で構成されておりますので通電します。電気の側や高圧線の近くでの使用は避けてください。また、落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないでください。 ●三脚の上には絶対に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒し死亡や大ケガにつながります。 ●寒冷地でご使用される場合は金属部が凍結する恐れがありますので、素手で操作しないでください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●カメラを取り付けた状態で、不安定な場所に放置したり立てかけたりしないでください。転倒の恐れがあります。 ●夏季など高温になる自動車内等には放置しないでください。オイル漏れや故障の原因となります。 ●寒冷地でご使用される場合は十分な性能が発揮されない場合があります。特にビデオ用オイルフリード雲台では、パン・ティルトの動作が重くなったり動かなくなることがあります。 ●三脚を携帯するときは、部品の脱落防止のため各々のネジ等を、しっかり締めつけて持ち運びしてください。 ●写真機、ビデオ、望遠鏡等での撮影・観察以外の目的で使用しないでください。 		

各部の名称

このたびは、ベルボン三脚をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



スーパーエースII
Super Ace II

フィールドエースII
Field Ace II

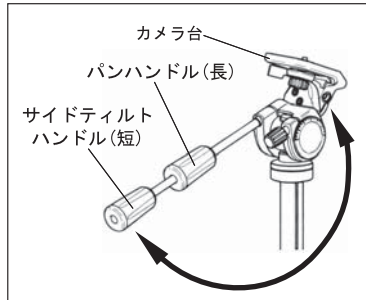
仕様

	Super Ace II	Field Ace II
雲台	PH-360N	PH-360N
全高	約1630mm	約1440mm
エレベータースライド	約240mm	約60mm
最低高	約560mm(セミローポジション)	約335mm
縮長	約710mm	約710mm
質量	約3700g	約3200g
脚パイプ径	約28・24・20mm	約28・24・20mm
段数	3段	3段
最大積載カメラ質量	4kg	4kg

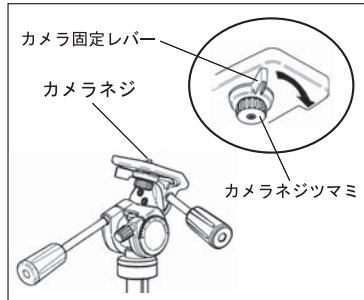
スーパーエースII フィールドエースII
★ **Super Ace II / Field Ace II** は……

ビギナーから
プロフェッショナルまで
幅広いユーザーに対応する中型三脚です。
安定性・操作性を重視して開発された雲台PH-360Nは
スムーズなティルト・パーンの動きを実現しました。
35ミリ眼レフカメラや中判カメラ、ビデオカメラや
フィールドスコープなどにも使用できる、
まさにオールマイティな三脚です。

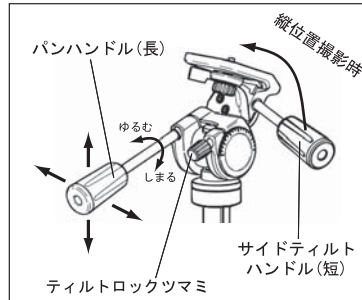
雲台の使いかた



① サイドティルトハンドルをパンハンドルから外し、カメラダイ側面に取り付けてご使用ください。収納するなどの際には、元のようにサイドティルトハンドルをパンハンドルにねじ込んで折りたたみます。

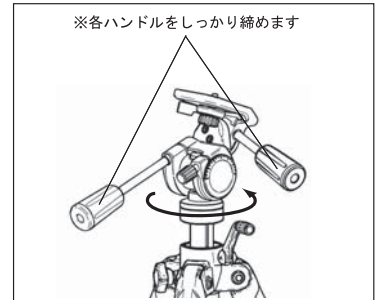


② カメラのネジ穴にカメラネジを合わせ、カメラネジツマミを回してしっかり固定し、最後にカメラ固定レバーを矢印の方向に押し込んで増しジメします（カメラ取付時はハンドル棒やストッパーを締めて行ってください）。



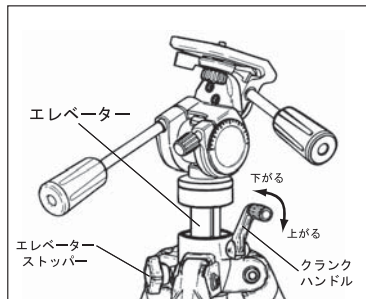
③ パンハンドルを緩めると、雲台の左右と上下の動きが同時に行えます。サイドティルトハンドルを緩めると、カメラの傾きが変わります。必要な位置でハンドルを締めシャッターをきります。※ティルトロックツマミを締めると、雲台の上下の動きのみ固定されます。

雲台を交換するには



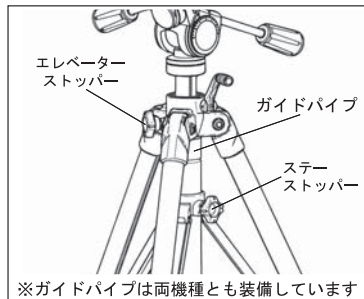
雲台を交換するには、雲台の全てのハンドルをしっかり締め、雲台を上図の矢印方向に回すと外れます。交換する雲台には、三脚取り付けネジのサイズがUNC1/4のものをお選びください（UNC3/8の雲台を使用するには別途アダプターが必要です）。

エレベーターの昇降



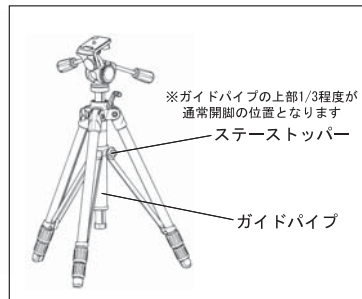
エレベーターを昇降するには、エレベーターストッパーをゆるめてからクランクハンドルを回して行います。必要な位置でエレベーターストッパーを締め、もう一度固定します（エレベーターの操作は、必ず機材に手を添えながら行ってください）。

昇降固さ調整機能

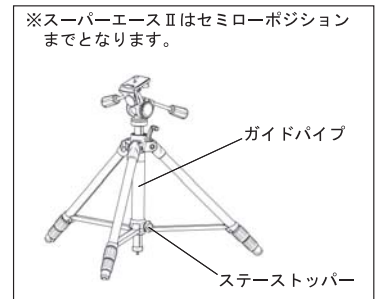


エレベーターの昇降の際、ガイドパイプを回すことによって昇降の固さを調整することができます（ゆるめ過ぎに注意してください）。スーパーエースⅡの場合はステーストッパーも一緒にゆるめてください。

開脚角度の調整 (スーパーエースⅡ)

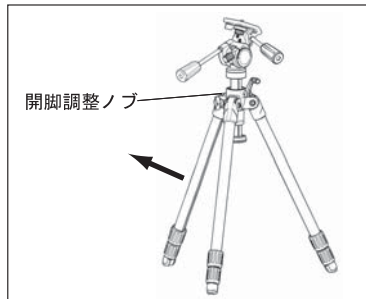


① ステーストッパーをゆるめて脚を開きます。通常開脚の場合は、ステーストッパーがガイドパイプの上部1/3程度の位置になることを目安としてください。

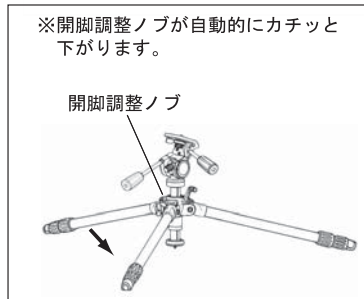


② ステーストッパーがガイドパイプ下端の位置にくるまで脚を開くと、地上高56cmのセミローポジションとなります（スーパーエースⅡはフルローポジションにはなりません）。

開脚角度の調整 (フィールドエースⅡ)



① 脚を閉じた状態で開脚調整ノブを「カチッ」と止まる所まで引き上げ、脚をいっばいに開くとフルローポジションとなります（ノブを一度引き上げると、脚をフルに開くまで元に戻りませんのでご注意ください）。

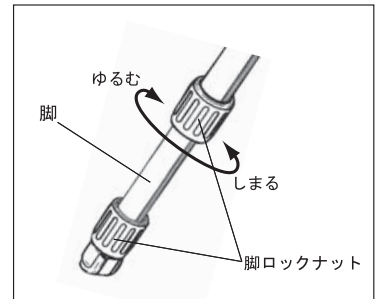


② フルローポジションにした脚をゆっくり閉じていくと、開脚調整ノブが自動的に一段下がります。この位置がセミローポジションとなります。



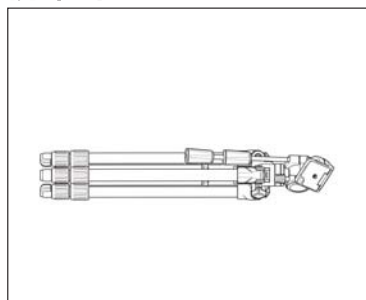
③ さらに脚を閉じていくと、またノブが自動的に一段下がります。標準開脚に戻ります。なお、開脚角度は各々の脚で自由に変えることができます。

脚の伸縮



脚の伸縮は、ロックナットを回して操作します。ロックナットを上図ゆるむ方向に回し、脚を引き伸ばしたら再び締めて固定します。このときロックナットのゆるめすぎに注意してください。

携帯時



携帯時は上図のように折りたたんで持ち運びしてください（サイドティルトハンドルをパンハンドルにねじ込むとコンパクトになります。各ハンドルは脱落しないよう、しっかりとねじ込んでください）。



三脚を、ケースやストラップを用いて肩から下げる場合は、雲台側を下にするとバランスがよく、持ち運びしやすくなります。（三脚ケース#630Lを使用すると、サイドティルトハンドルを付替えずに収納できます）